

課題	独居	在宅サービス	ボランティア・担い手	まちづくり
生活圏	高齢者は年齢で一律ではない。差がある 地域になじみがない	老老介護の今後が心配 要支援者の今後が心配	ボランティアを通して たくさんの人と知り合う ことができた	バリアフリーの必要性は、自分がその場 になって初めてわかる事が多い
個人・家族	高齢者の一人暮らしが増えている 高齢者の引きこもり問題 話相手が欲しい 寂しい 高齢者が一人でも暮らしやすいようにするにはどうしたら良いか 病院に行きたいが一人で行けない 病気になった時困る 今は困っていないが明日(将来)が不安 『元気な時は地域に尽くし、倒れたら地域の世話になる』とフランクに考えたい	在宅介護の家庭は孤立しがち 地域包括支援センターとは? 自転車に乗れないので外出が困難 病気になっても自宅で一生を終えられる在宅介護の支援を(夜間介護等) できれば夕食の配食を	ボランティアには限界がある 「住民」は多様。どう把握するかが課題 団塊世代へ地域活動への呼びかけを 配食ボランティア募集中	団塊世代へ地域活動への呼びかけを 福祉ボランティア活動情報が少ない 近所の方にボランティアをしようとしても
	独居者は家の垣根を低くして地域にオープンに 独居高齢者の安否が心配 地域の高齢者が見えない。 引きこもりの人への声掛けむずかしい 団地住人からみて、最近一人暮らしの人が増えていると感じる 高齢者の買い物:個人商店が閉店すると近所での買い物ができない 近くに病院が少ない;「地域」が高齢者にとって暮らしにくい場所になってきた 一人暮らし高齢者の見守りをどうするか 一人暮らしの寂しさを助けるシステム	24時間対応できる場所があるとい 地域で気楽に使用できる小規模施設 レモンキャブの予約がとれない(台数、ボランティア増を) テンミリオンハウスは5年で区切って運営方法を変えてはどうか 桜堤ケアハウスの在宅支援は対応が迅速で地域住民に喜ばれている 在介支の機能アップのために地域社協等の市民の参加を 東部地域は中央部、西部の比べてデイ等の施設が不足している	高齢者人口は増加しているが、社会参加する高齢者は減少していると思う 福祉の担い手が少ない 同じ人が様々な役を引き受け過ぎる 地域社協はもっと地域に溶け込んで 地域社協のあり方が見えてこない コミセン活動と地域社協の一体化を 地域社協には拠点が必要	公共施設の地域ごとのバラツキが大きい コミュニティ地域等の小地域ごとに専門家と住民の連携がとれる体制づくりが欲しい のら猫対策 近くに4~5人で集まって、おしゃべりやお茶ができる場所が欲しい 自分の趣味を通じて仲間を作りたい いろいろなサークルがあるといい 世代間交流(若者と高齢者)が少ない
地域  市レベル	一人暮らし支援として連絡ベルの設置を 補聴器が高額なので一部補助を	ホームヘルプサービスの拡充を 市の窓口にソーシャルワーカーの設置を 行政サービスの利用が1箇所までまとめでできずに不便 要支援者への家事援助の縮小が不安 介護保険料の増加が不安 地域包括支援センターの6箇所設置を 介護予防には限界があるのでは。筋トレは効果がきちんと検証されてから推進すべきでは 介護保険料の天引きは「保険」の精神に基づいていない 高齢者が楽しめる講座を増やして欲しい ショートステイの増設を デイサービスを増やして	行政と地域ボランティアの連携を 行政サービスの利用が1箇所までまとめでできずに不便 要支援者への家事援助の縮小が不安 介護保険料の増加が不安 地域包括支援センターの6箇所設置を 介護予防には限界があるのでは。筋トレは効果がきちんと検証されてから推進すべきでは 介護保険料の天引きは「保険」の精神に基づいていない 高齢者が楽しめる講座を増やして欲しい ショートステイの増設を デイサービスを増やして	若年層が市内に住み続ける方法はないか(市民の年齢層の画一化防止) まちの治安 ムーバスルートの増設。終バスの延長。 買い物しやすいまちづくりを 空き店舗を地域活動拠点に 地域の防災ネットワークの充実。災害時 ゴミが戸別収集になって地域交流が少なくなった 車椅子利用者には段差はない方がよい バリアフリー対策の充実を 歩道が狭い、雨天時タイルが滑る 段差解消を 駐輪場が少ない 電柱の地中化推進:視覚障害者対策として 三鷹駅北口エレベーターの設置を早く